

2023 年度第 18 期アレルギー大学

食物アレルギーマイスターを目指す方へ

食物アレルギーマイスターとは、地域や職場において、アレルギーで悩む患者家族の大きな支えとなる食物アレルギーのプロフェッショナルです。常にアレルギーに関する最新の情報収集や知識の習得に努めるとともに、医療機関や自治体などと連携し、アレルギー疾患のある患者家族の QOL 向上のための社会貢献活動が期待されています。

【食物アレルギーマイスターの具体的な活動例】

地域の「アレルギー会（患者会）」の活動支援（定例会への参加）・設立支援

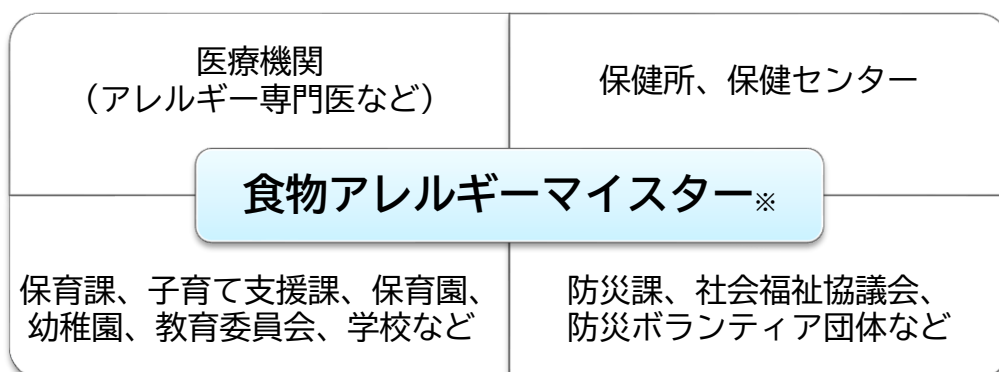
アレルギーに関する勉強会や講演会の開催

患者会や患者家族と自治体の関連部署との橋渡し役（コーディネーター）

職場や地域におけるアレルギーに関する正しい知識の普及

アレルギーに関する商品開発や、アレルギー疾患を持つ患者家族の QOL の向上のための業務

【食物アレルギーマイスターの具体的な連携先】



※食物アレルギーマイスターは、アレルギー支援ネットワーク独自の資格です。
(厚生労働省資格ではありません。)

【食物アレルギーマイスターを取得するには？】



以下①～④をクリアすると、食物アレルギーマイスターの申請ができます。

※発表は2020年度第15期以降の上級レベル修了生が対象です。ただし、2019年度第14期以前の修了生でも、過去に発表し1回以上合格を得ている修了生は除きます。

(発表までにクリアすること)

- ① アレルギー大学を上級レベルまで修了する。
(2023年度第18期以降の方は食物アレルギーアドバイザー1級の資格を取得する。)
- ② 「研究発表・実践報告」(1回目)を受講する。

(発表)

- ③ 「研究発表・実践報告」で発表し、2回以上の合格を得る。

(食物アレルギーマイスター申請までにクリアすること)

- ④ 「上級レベル講座」(2回目)と「中・上級レベル実習グループディスカッション」(1回以上)を受講すること。グループディスカッションは「食物アレルギーアドバイザー1級」を取得する際の受講でも可。

<「研究発表・実践報告」での発表について>

●発表方法

- ・資料はパワーポイントで作成し、ZOOMウェビナーで発表を行います。
- ・研究実践報告の評価は、「体系的に整理して発表を行っているか」を基準にして審査します。下図のような流れを意識して資料作成及び発表を行ってください。



●発表の費用

- ・研究実践報告資料代：5,000円＋発表審査料：2,000円
- 発表を行うには、研究実践報告の受講申込をし、別途案内の「発表者募集要項」※に従って、発表の申し込みを行ってください。
- ※例年10月頃にホームページに掲載

●アレルギー大学 研究実践レベル「マイスター準備講座」について

食物アレルギーマイスターを目指されている方を対象にした講座です。『研究実践報告』で発表するにあたり、資料の作成から発表までのスキルを身につけることができます。(受講は必須ではありません。)

【食物アレルギーマイスター取得後は？】

マイスター認定委員会の審査に合格されると、アレルギー支援ネットワークの正会員(年会費：5,000円)として入会の上、「食物アレルギーマイスター」として登録され、認定証(認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク発行)が授与されます(認定料は無料)。マイスター資格は5年ごとの更新制です。5年間の活動及び本大学再受講などの条件を総合評価し更新となります。